

吾妻小富士

数千年にわたる火山活動が、磐梯朝日国立公園にある吾妻連峰の起伏に富んだ地形を形成し、吾妻小富士（1,707m）のような新たな山を生み出しました。吾妻小富士は 1,500 年をかけて形成した山で、激しい噴火を繰り返した結果、火口側面に凝固した溶岩や火山灰、火山碎屑が堆積してできました。吾妻小富士の円すい形という形状と左右対称の傾斜が、富士山との比較対象になる所以です。吾妻小富士は比較的若い火山（約 6,000 年）ですが、非常に長い間噴火しておらず、将来的な噴火の可能性が低い火山です。

吾妻小富士の傾斜は荒涼とした外観で、緩い土砂や小石、スコリア（火山岩）に包まれています。環境は植物に適していませんが、一部の丈夫な種は、この乾燥土でも生き延びることができます。ハイキングに訪れた際は、大きな岩々に生えるコケや、イタドリやコメススキといった耐寒植物の存在に気づくでしょう。吾妻小富士の南麓にはゴヨウマツが生育しており、傾斜をじわじわと登っていることから、生態遷移（火山噴火後に植物がゆっくりと戻ってくること）がうかがえます。

火口壁の稜線までは、浄土平の駐車場から徒歩約 10 分の距離です。火口壁を歩くと、そこでは福島盆地、浄土平の湿原、そして、深さ 70 メートル、直径 500 メートルの火口というパノラマを楽しむことができます。1 周には約 1 時間を要します。

トレッキングコースはほとんどが小石（がれ場）でできており、強風の場合もあるので、特に火口付近を歩く場合は注意が必要です。